

あま市における地域公共交通の今後のあり方について ～巡回バスの課題分析と最適化に向けた検討～

1 背景と現在の状況

(1) 地域公共交通の背景と現状

「あま市」が発足して以来、高齢者を中心とする市民からは、市内の公共施設などを結ぶ交通手段の確保について要望が出されてきました。

当時、計画期間中であった第1次総合計画では、「安心して快適に暮らせるまち」を目標とし、「交通網が整備された安全で快適なまちづくり」を重要施策に掲げていました。また、都市計画マスタープランでも「どこへでも、安全・快適に移動できる環境づくり」を基本方針としていました。

これらを踏まえ、高齢者を中心とした移動に困っている方々の日常生活を支えることを目的に、平成27年11月に巡回バスの試行運行を開始しました。このルートは、市民病院や公共施設、商業施設などをできるだけコンパクトに結んだものでした。平成29年10月には、アンケートや人口分布に基づき、高齢者が多く要望の強い地域を中心にルートを見直し、令和3年4月から本格運行を開始、令和5年5月の新庁舎の開庁とともに現行ルートとなりました。

2 あま市巡回バスの概要と運行状況

(1) 運行概要と費用状況

▼ 表1：運行概要

項目	内容	項目	内容
本格運行開始日	令和3年4月1日	始 発 便	午前9時00分
新ルート移行日	令和5年5月6日	最 終 便	午後3時20分
運 行 日	火、水、金曜日	運 賃	大人200円/小人100円
路 線 数	3ルート	無料対象者	75歳以上の高齢者、障がい者、運転免許返納者
路 線 名	北部、南部、東部		
便 数	各5便	運行事業者	名鉄バス津島営業所
起 終 点	七宝焼アートヴィレッジ	使用車両	マイクロバス3台

▼ 表2：費用状況

	R 4	R 5	R 6	R 7 (予算額)
運行負担額	25,982,000円	27,456,000円	29,150,000円	31,911,000円
運賃収入	167,000円	222,300円	242,700円	—
その他収入	104,400円	104,400円	104,400円	—
市負担額	25,710,600円	27,129,300円	28,802,900円	—

※ 市負担額＝運行負担額（年度当初契約額）－（運賃収入＋その他収入）

- ① 巡回バス運行に係る市負担額は、毎年5～10%程度の増加傾向にあり、これは人件費の上昇及び燃料費の高騰が要因しています。その一方で、運賃収入は、新ルート導入時に30%程度の上昇があり、以後徐々に伸びてきています。しかし、慢性的に低収入であることから、運行経費の大部分を市が負担している状況に変わりありません。

▼ 表3：利用者一人あたりの運行コスト

	R 4	R 5	R 6
一年度間の市負担額	25,710,600円	27,129,300円	28,802,900円
一年度間の利用者人数	7,087人	8,113人	9,293人
一人当たりの運行コスト	3,628円	3,344円	3,099円

- ② 利用者数も、運賃収入と同様に増加傾向にあり、結果として利用者一人当たりの運行コストは年々減少しています。これは新ルートになり、南部ルートがJR蟹江駅を経由したことによって、有料での利用者が増えたことに起因すると考えられます。しかし、直近のデータでは、バス利用者のうち80%強が無料パスを使用しており、いわゆる移動制約者の生活の足となっているものの、年間運賃収入も限られていることから、巡回バスの採算性は低い状況となっています。

▼ 表4：ルート別・平均利用者数(R5.5.6～R7.6末)

ルート	利用者数計(人)	運行日数	1日平均(人)	1日便数	1便平均(人)
北部左回り	2,151	336	6.40	3	2.13
北部右回り	1,627		4.84	2	2.42
南部左回り	3,906		11.62	2	5.81
南部右回り	5,308		15.79	3	5.26
東部左回り	2,692		8.01	2	4.00
東部右回り	3,408		10.14	3	3.38
全ルート計	19,092		56.82	15	3.78

- ③ 新ルートの切り替えは、一便あたりの距離及び便数を見直し、運行効率をあげる内容でした。これにより、便数が全てのルートで4便から5便に増え、利用者の増加にもつながりました。さらに、北部ルートで廃止されたルートの一部を東部ルートに付け替えたことによって、東部ルートの乗客は大きく増加し、北部ルートの減少を上回る増加につながっています。加えて、前②の南部ルートのJR蟹江駅の経由も相まって、毎年利用者総数の増加につながることができています。一方で、特に北部ルートでは、美和地区から、商業施設(スーパー)を経由して、名鉄甚目寺駅まで行く経路が廃止されたことにより、利用者が大幅に減少したものと考えています。

(2) 巡回バスに関する市民からの声

巡回バスの利用については、市民から「不便である」との声が継続的に寄せられています。具体的には、運行曜日や時間帯の制約、バス停までの距離、乗り換えの不便さなど、さまざまな課題が指摘されています。特に、北部ルートに関しては、利用者の少なさから経路の見直しを求める声が強くなってきています。

これらすべてのニーズに応えることは困難ではありますが、市民の声に耳を傾けつつ、さまざまな公共交通サービスのあり方を参考に、バランスのとれたより良い交通施策を常に模索し続ける必要があると考えています。

また、市民のニーズを具体的に反映していくためには、市民からの声や要望のほかにも、移動実態の把握も重要となってきます。実際にどこからどこへ、どのような目的で移動しているのかなどの実態を把握するために、巡回バスの利用状況について、乗車場所（Origin）及び降車場所（Destination）を調査するOD調査を実施し、市民の移動ニーズを可視化することは、交通施策の最適化に資するものと考えています。

(3) 効率性と財政負担の課題

現在の巡回バスは、利用者の有無にかかわらず、あらかじめ定められたルートを定時に運行する「定時定路線型交通」として運行しています。この運行形態の特性上、利用者が少ない便であっても一定の運行コストが発生し、運行全体の効率性に影響を与える要因となっています。

表3のとおり、利用者数は年々増加傾向にあり、それに伴い一人当たりの運行コストは、令和4年度の3,628円から令和6年度には3,099円へと減少傾向にあります。

また、本事業には年間約3,000万円以上の市負担金が投入されており、令和7年度も3,200万円弱の予算を投じています。これは公共交通サービスとして、市が果たすべき役割を踏まえた必要な支出である一方で、少くない財源が継続的に充てられていることも事実です。

こうした状況を踏まえると、今後はさらなる予算措置を求めるのではなく、既存の予算額の範囲内で、より効果的で効率的な運行の実現を図っていくことが重要です。持続可能な地域交通の確保に向けて、利用実態を踏まえた柔軟な見直しや、運行方法の工夫などを通じて、より最適な形を調査及び研究していく必要があると考えています。こうした検討を進めるにあたっては、前項で述べたOD調査などの分析結果を踏まえることが重要であると考えています。

3 OD調査の実施概要案

(1) 調査実施の目的

巡回バスの運行から2年が経過し、利用者数は増加傾向にある一方で、市民の皆さまからは、さまざまなご意見やご要望をいただいています。こうした声に応えていくためには、利用者の実際の移動経路や目的など、移動の実態を正確に把握することが不可欠であると考えています。

そのため、本調査では、乗車場所 (Origin) と降車場所 (Destination) を中心とした移動実態の調査 (OD調査) を実施し、今後の交通施策の最適化に向けた基礎資料としていく予定です。

なお、本調査は、巡回バスの運行実態や利用者のニーズを把握し、地域交通の今後のあり方の検討において、客観的な参考情報を得ることを目的としています。

※ 本調査は、巡回バスの全利用者を対象としたものではなく、数日間の一部運行便で実施する標本調査です。調査結果は、傾向把握や今後の方向性検討に活用する予定です。

(2) 調査の概要

- ① 対象者 巡回バスを利用するすべての乗客
- ② 調査日程 令和7年〇月中の複数日 (数日間の抜き打ち調査)
- ③ 調査方法 市職員が乗車し、バス車内で別紙を用いて聞き取り調査
- ④ 所要時間 一人あたり1～2分程度の簡易な質問票方式

(3) 調査項目の概要

- ① 乗車及び降車場所 (OD)
- ② 利用目的 (通勤・買い物・通院など)
- ③ 利用頻度 (定期・不定期・初回)
- ④ 利用者の年代及び運賃区分 (一般/無料パス)
- ⑤ 巡回バスに対する意見及び料金負担の許容度

(4) 調査結果の活用方法

- ① 乗降地点の分布から、地域ごとの利用傾向を把握
- ② 利用目的別の割合や利用頻度との関連性の分析
- ③ 無料パス利用者と一般利用者の行動特性の違いの把握
- ④ 曜日・時間帯別の需要に応じた柔軟な運行方法の検討材料
- ⑤ 利用者のニーズ把握と料金受容性の把握

【巡回バス利用実態調査票（OD調査）質問事項 案】

1 利用行動に関する質問

(1) 今日はどこから乗車して、どこで降車しますか？

乗車停留所（ ） / 降車停留所（ ）

(2) 今日はどのような目的で利用していますか？

※ 差し支えなければ行き先も教えてください。

()

(3) このバスを利用するのはどのくらいの頻度ですか？

____週に____回程度 ____か月に____回程度 初めて

(4) 帰りも利用しますか？（行きも利用しましたか？）

※ 片道のみの場合は、もう片方の交通手段を教えてください。

乗車停留所（ ） / 降車停留所（ ）

別の交通手段（ ）

2 利用者の属性

(1) 年齢層

20代以下 30～50代 60代～75歳未満 75歳以上

(2) このバスの利用にあたって、どの運賃制度を利用しましたか？

一般運賃 無料パス（75歳以上 ・ 障がい者 ・ 免許返納者）

3 巡回バスの継続・見直しに関する考え方

(1) 巡回バスを利用する上でご意見があれば教えてください。

()

(2) 現在の巡回バスを今後も続けてほしいと思いますか？

継続してほしい（経路の一部見直しを含む）

現在と同額の負担で利用できる別の公共交通手段を検討してほしい

自己負担額が増えても他の手段を検討してほしい

500円までなら払ってもよい 1,000円までなら払ってもよい

2,000円までなら払ってもよい 2,000円以上でも必要なら払う